



Bricks in Mojiko  
and the future

# 門司港の煉瓦と未来展

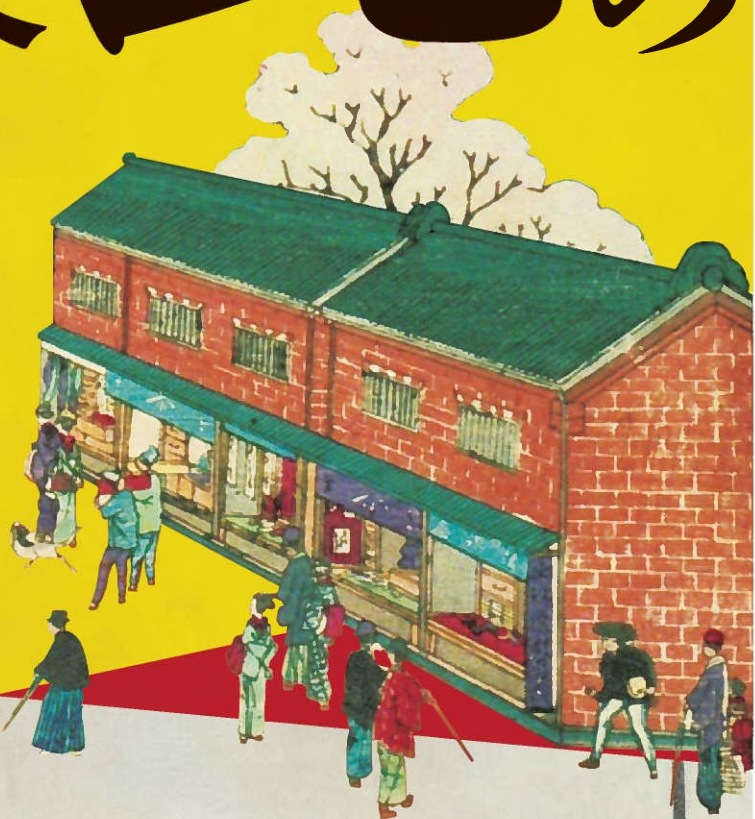


9<sup>(金)</sup> | 10<sup>(日)</sup>  
2023 | 1 → 29

開館時間：午前9時～午後5時（入館は4時30分まで）

会場：関門海峡ミュージアム 多目的ホール

1万年の古くから現代まで、ひとの暮らしのそばにある煉瓦と煉瓦建築。日本でも文明開化の象徴として東京・横浜・北海道…各地で赤煉瓦の街が花開いた。ここ門司港もそのひとつ。旧門司税関など、やさしい姿や歴史の香るランドマークは人々に愛され、令和のいまに再構築・保存されつづけている。煉瓦建築は昔を偲ぶだけのものなのだろうか？煉瓦の歴史を紐解く、門司港の煉瓦建築や明治40年に北九州で製造開始された「鉾津煉瓦」、そして最新技術の「バイオ煉瓦」「宇宙煉瓦」。メソポタミアから火星まで…。過去・現在・未来に広がる煉瓦に情熱を注ぐ人々の姿を想う。門司港レトロで「煉瓦とは何か？」を振り返り、深掘り、アップデートすれば面白い世の中が見えてくる。



門司港レトロ  
MOJIKO RETRO

主催：門司港共創プロジェクトチーム 共同事業体

協力：関門海峡日本遺産協議会、(公財)北九州市芸術文化振興財団 埋蔵文化財調査室、日鉄高炉セメント株式会社  
黒崎播磨株式会社、株式会社岡田煉瓦製造所



詳しくはコチラ



# Bricks in Mojiko and the future



## パネル展示

### 歴史エリア

#### 煉瓦のきほん

- ・なぜ赤い？
- ・なぜ固い？
- ・なぜ四角い？
- ・煉瓦の作り方
- ・煉瓦の積み方

#### 世界の煉瓦の歴史

- ・文明発祥のそばに
- ・焼成煉瓦の始まり
- ・ローマ帝国
- ・万里の長城
- ・産業革命

#### 日本の煉瓦の歴史

- ・飛鳥時代
- ・幕末と明治
- ・鉄と煉瓦
- ・富国強兵
- ・戦前と震災
- ・戦後と現代



さんぎり頭をたたいてみれば文明開化の音がする

### 門司港エリア

#### 門司港と煉瓦

- ・文明開花の象徴としての煉瓦
- ・地震と鉄筋コンクリート
- ・門司港の煉瓦建築の登場

#### 門司港レトロの煉瓦建築

- ・旧門司税関
- ・旧大阪商船
- ・大連友好記念館

### 北九州エリア

#### 北九州の煉瓦物語

- ・鉾津煉瓦の誕生
- ・ネオ・鉾津煉瓦「高炉セメント」
- ・廃棄物を活用して生まれた素材

### 未来エリア

#### 未来の煉瓦

- ・穴だらけの断熱煉瓦
- ・日干し煉瓦「アドベ」の新時代
- ・バクテリアを利用した「バイオ煉瓦」
- ・酸化マグネシウムを混ぜて

- ・煉瓦積みロボット
- ・マインクラフト/煉瓦と教育
- ・宇宙の煉瓦
- ・煉瓦をバッテリーに

これできみも煉瓦博士！



## 実物展示

#### 明治～昭和初期の煉瓦

- 普通煉瓦(石原煉瓦工場)
- 耐火煉瓦(三石耐火煉瓦株式会社)
- 刻印煉瓦(戸畑耐火煉瓦製造所)
- 鉾津煉瓦(八幡製鐵所)

#### さまざまな煉瓦

- 普通煉瓦・はんぺん・ようかん
- はんます・耐火煉瓦・素焼き煉瓦
- アンティーク煉瓦・リサイクル煉瓦
- 鉾津(高炉スラグ)・高炉セメント

石原煉瓦工場は、北九州市内ではじめてつくられた煉瓦工場といわれているよ。



会場では関門レトロ建築マップを配布しています。ぜひ、会期中にお立ち寄りください！

挿絵：『東京浅草観世音並公圖地煉瓦屋新築繁盛新地遠景之図(部分)』(郵政博物館収蔵)

## 日本遺産について

日本遺産は、地域の歴史的な出来事や伝承、風習などを1つのストーリーとしてまとめ、文化庁が認定したものです。2017(平成29)年に日本遺産に認定された「関門「ノスタルジック」海峡～時の停車場、近代化の記憶～」は、福岡県北九州市の門司区、若松区、山口県下関市の幕末から昭和にかけてのストーリーです。本展で取り上げている旧門司税関、旧大阪商船、旧サッポロビール九州工場などの煉瓦建築も、日本遺産の構成文化財です。



### <関門海峡ミュージアム>

住所：北九州市門司区西海岸1丁目3番3号

営業時間：9:00～17:00(最終入館16:30)

定休日：9月5日(メンテナンス休館) 入場無料(多目的ホール)

問い合わせ：門司港レトロ総合インフォメーション 093-321-4151



施設HP

### アクセス



●門司港駅より9分 ●有料駐車場あり(約180台)